



最高峰の高画質ドライブレコーダー

MIRUMO[®] eye

取扱説明書



DRC-35ST

ご購入のお客様へ

この度は、弊社の商品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
ご使用の際には本書をよくお読みになり、本製品を正しくお使い下さい。
又、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管して下さい。

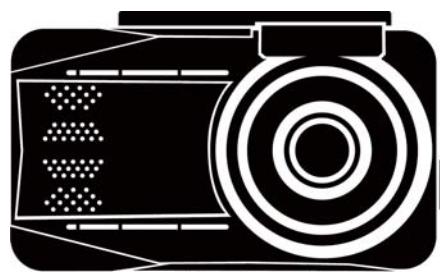
ご使用前に、「安全上の注意」・「使用上の注意」を必ずお読みください。

ご使用の前に、「安全上の注意」「使用上の注意」「取り付け方」を必ずお読みください。

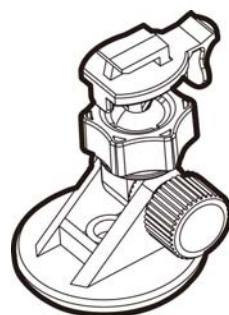
この度は、ドライブレコーダーDRC-35STをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

▶ パッケージの内容

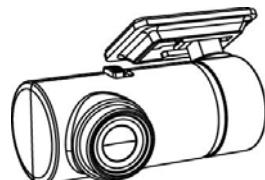
パッケージには次のアイテムが入っています。欠損品目または破損品目がある場合は、ただちに販売店にお問い合わせください。



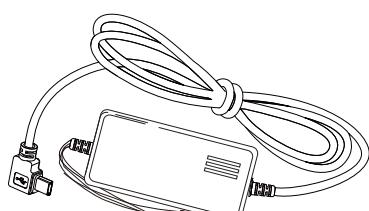
ドライブレコーダー本体
(SDカード挿入済み)



ブラケット (両面テープ付)



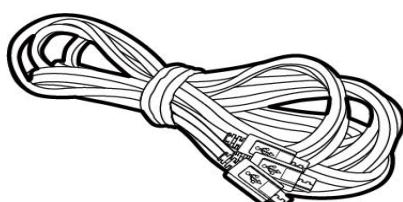
サブカメラ本体



電源コード



サブカメラ用両面テープ



マルチ接続ケーブル



取扱説明書 (保証書)

► もくじ

安全上の注意	4
使用上の注意	6
各部の名称	8
ドライブレコーダーの取り付け方	9~16
取付注意事項	9
microSDカードの挿入・取出し	10
本体(メインユニット)の取り付け方	11
本体の位置調整	11
電源への接続	12
サブカメラの取り付け方	13~16
カメラ貼付位置・方向	13
配線の方向	13
ケーブルの接続	14
カメラの設定	15
メインユニット側の設定	15
室内カメラの取り付け方 ※オプション	16
メインユニット側の設定	16
本製品の電源オン/オフ	17~18
自動電源オン/オフ	17
手動電源オン/オフ	17
アイコン・ボタン説明	18
初期設定	19
SDカード初期化	19
日付/時間の設定	19

► もくじ

録画	20~22
自動録画	20
解像度の設定	20
緊急録画	21
静止画の撮影	22
安全運転支援機能	23~28
スピードカメラアラート(オービス警告)	24
スピードカメラアラート(追加)	24
制限速度アラート	25
長時間運転アラート	25
追突防止アラート	26
車線逸脱アラート	27
衝撃検出(Gセンサー)	28
駐車モード ※オプション	29
その他の機能	30
機能チャート画面	30
SDカードフォーマット案内	30
ファイルの再生	31~33
映像再生	31
再生画面	32
ファイルの削除	33
設定メニュー	34~36
再生ソフト(SuperCar3)	37~38
ファームウェアの更新について	39
仕様	40~42
よくある質問	43

▶ 安全上の注意

※必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。《危害や損害の程度を区分して、説明しています。》

- 表示内容を無視して誤った扱い方をしたときに生じる損害の程度を次の表示で区分し、説明していきます。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明していきます。



実行

「必ず実行してください」強制です。



禁止

「してはいけない内容」禁止事項です。



警告

安全上の注意

- 内部に異物が入った・水に浸かった・煙が出ている・変な臭いがする等の場合はすぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。
- ブラケットおよびドライブレコーダー本体は、保安基準に従って取り付けてください。(事故の原因となる場合があります。)
- 電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして発煙・発火等の原因となります。
- 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様、または持病をお持ちのお客様、妊娠されているお客様等は、医療用機器または体への影響を担当医師にご確認ください。
- 電源コード(12V／24V車対応)はマイナスアース車専用です。(プラスアース車に使用すると、火災や故障の原因となります)
- コード類を傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。
- 運転者は走行中に画面を注視及び操作しないでください。前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。
- ヒューズは必ず指定の物を使用してください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱により発煙・発火等の原因となります。
- microSD カードおよびその他の付属品等は、子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。
- 本製品の本体および付属品を分解または、修理しないでください。感電や故障の原因となります。点検や修理は販売店にご依頼ください。





- 本製品を直射日光が当たる場所や暖房器具の近く等、温度が非常に高い所・湿気やほこりの多い所・油煙の多い所に保管しないでください。変形・変色等を伴う故障の原因になります。
- 本製品を電子レンジ、オーブン等で、加熱したりしないでください。破裂、発火や火傷の原因となります。
- 穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
- 本製品や付属品の各端子部に異物が入らないように、注意ください。故障の原因となります。
- 本製品や付属品を濡れた手で触れないでください。感電等の原因となります。
- 落下など強い衝撃を与えた後、投げつけたりしないでください。
- 水や海水、その他の液体がかからないように使用してください。発煙・発火等の原因となります。
- 車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしないでください。
車両の安全装置(カメラ・レーダー等)などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因になります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしないでください。エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本製品や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。
- 視界や運転を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やけがの原因となります。
- コード類は、運転を妨げないように配線してください。ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル等に巻きつくと、交通事故や故障の原因となります。
- 車線逸脱アラート・追突防止アラート等は撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能であり、安全運転をアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して弊社は一切その責任を負いません。

▶ 使用上の注意

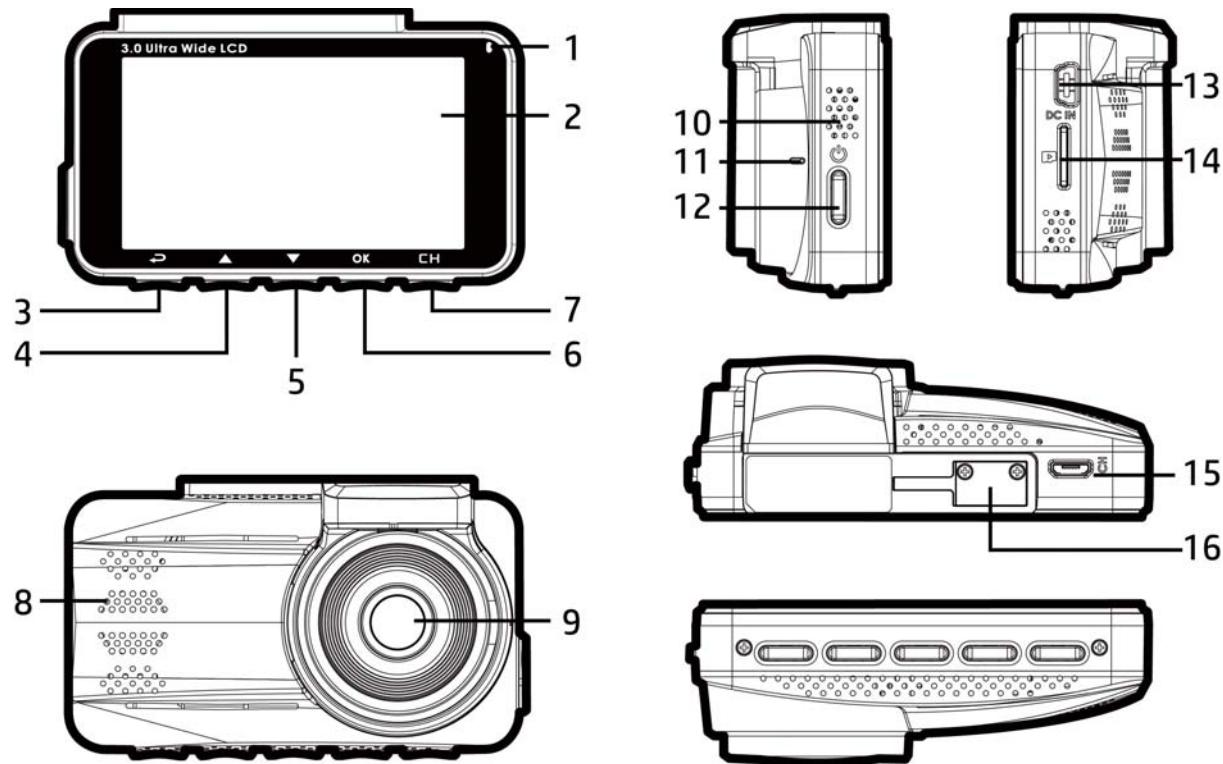
⚠ 警告

- 本製品は microSD カードを挿入してからご使用ください。microSD カードを挿入しないとご使用できません。
- 本製品で録画した画像は、事故等の証拠効果を保証するものではありません。
- 自動録画は記録を繰り返していますが、全ての場合で録画を保証するものではありません。また事故等の際の記録を保証するものではありません。(保存できない場合もあります)
- 本製品を業務用(バス・トラック・タクシー・商用車等)で使用した場合は保証規定に入りません。
- 本製品の故障や使用状況によって生じた損害、microSD カードのデータ破損、それらによる損害について、弊社は一切その責任を負いません。
- 本製品は日本国内のみで使用できます。
- テレビアンテナ、GPS アンテナの近くには取付けないでください。受信障害が起きる可能性があります。
- 本製品のオービスポイント案内は取締りの有無を案内するものではありません。オービスの場所を案内したか否かに関わらず、違反等に関して一切その責任を負いません。
- 本製品のオービス案内時に表示される制限速度は、当社が独自に調べたものであり、その道路の制限速度を保証するものではありません。また気象状況や規制により制限速度は変わりますので、現地の標識や指示にしたがって安全な運転を行ってください。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。
- 本製品を本来の目的以外で使用しないでください。使用方法によってはプライバシーなどの権利を侵害したり、個人情報保護法に抵触する恐れがありますのでご注意ください。これらの場合について、弊社は一切その責任を負いません。
- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSD カードを抜いて保管してください。
- 本製品の車線逸脱アラート・追突防止アラート・衝撃検出はそれらの検知を保証するものではありません。
- microSD カードは電源スイッチを OFF にして画面が完全に消えてから抜いてください。microSD カードへのデータ書込み中および読み込み中に microSD カードの抜き差しを行うと、データ破損やデータ消失、microSD カード故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSD カード内に本製品以外のデータを入れないでください。また、パソコン等で microSD カード内のファイル(名前・拡張子等)の変更・削除・追加・移動をしないで下さい。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみ等が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。
- LED 式信号機や LED 表示装置は高速点滅しているので、点滅して撮影される場合がありますが、異常ではありません。



- 逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切その責任を負いません。
- 本製品の保証対象は本体のみになります。microSD カードや、その他の付属品は保証対象外となります。
- 安定してご使用いただくため、定期的(3カ月に1回程度)に microSD カードを本製品の設定メニューからフォーマットすることをお勧めします。
定期的にフォーマットを行わないと、録画できない場合があります。
- microSD カードはその特性上、データを書き込む回数に制限(寿命)がありますので1年前後を目安に新品と交換することをお勧めいたします。また、使用状況により寿命が短くなることがあります。
- 本製品のレンズに指で触れないでください。指の脂がレンズに残り、録画画像や静止画が不鮮明となる場合があります。
- 液晶ディスプレイは99.99%以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありません。
- 液晶ディスプレイは周囲の温度が約60°C以上ま0°C以下になると画像が通常と異なる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。温度が安定すると元の状態に戻ります。
- 本製品を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまでに20分以上時間がかかる場合があります。
- フロントガラスが鉄粉入りの熱反射ガラスやメタリックフィルム等を装着している場合は、GPSを測位できない場合があります。
- 走行速度や進行角度、距離、ポイント案内などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によっては、表示しない場合や実際とは異なる場合があります。
- GPS位置測定の精度は天候や高層建築、トンネル、地下、森林などの場所によって変わることあります。
- 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品や付属品の故障および点検等にともなう脱着費用、レンタカー代、電話代、商業損失等につきましては保証期間内・外を問わず一切その責任を負いません。
- 電源の接続は確実に行ってください。(2.5A以上を確実に供給できる場所)不確実な接続や接続場所が悪いと電圧低下や変動により誤動作の恐れがあります。
- microSD カードを使用する際は、必ずドライブレコーダーにてフォーマットをして下さい。
- 保安基準第29条第4項第6号「道路等に設置された通信設備との通信のための機器、道路及び交通状況に係る情報の入手のためのカメラ、運行中の運転者の状況に係る情報の入手のためのカメラ」はフロントガラス上部20%以内の取付け範囲に設置することができます。
【オプション】室内カメラは上記内容(運行中の運転者の状況に係る情報の入手のためのカメラ)を録画する目的の製品です。
そのため、設置範囲以内での取付け可能です。

各部の名称



各部の名称

番号	項目
1	LEDインジケーター
2	LCDカラーモニター
3	[戻る]ボタン(⬅ / ➡)
4	[上]ボタン(▶ / △)
5	[下]ボタン(□ / ▽)
6	[OK]ボタン(⚠ / OK)
7	カメラ切り替えボタン (⬅ / CH)
8	スピーカー

番号	項目
9	広角レンズ
10	リセットボタン
11	内蔵マイク
12	【電源】ボタン
13	USB電源コネクター
14	メモリーカードスロット
15	サブカメラ接続ポート
16	ブラケットソケット

取付注意事項

性能を十分発揮するために、下記を守って取り付けてください。

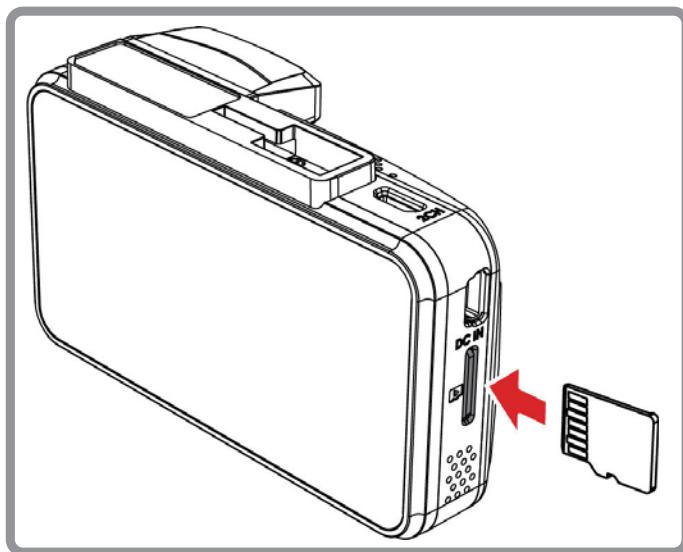
- フロントガラスへの取り付けは、保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より 20% 以内のルームミラーと干渉しない場所に設置してください。
- 検査標章などと重なったり、検査標章などが映らないように取り付けてください。
- 鮮明に録画を行うためにワイパーの稼動範囲に設置することを推奨いたします。
- 地デジ・ラジオや ETC 等のアンテナ近くには本体及び配線を設置しないでください。それらの感度が低下する場合があります。
- 本製品の近くに GPS 受信機能を持つ製品等を設置しないでください。
- フロントガラスのセラミックラインなどが映らないように取り付けてください。
- 車両安全装置やブレーキアシストシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて、取り付けてください。
- 本機の LED ランプが確認でき、microSD カードを挿入 / 取り出しできる位置に取り付けてください。
- 車両装備品（エアバッグ、その他装備）の動作を妨げないように、取り付けおよび、配線を行ってください。
- 鉄粉入りの熱反射ガラスやメタリックフィルム等を装着している場合は GPS を測位できない場合がありますのでご注意ください。



microSD カードの挿入

図のように、メモリーカードの金色部を本機の画面側に向けた状態でカードを挿入します。カチッという音がするまで押し込んでください。

※本機はメモリーカードが挿入されないと録画しません。必ずメモリーカードを挿入の上、ご使用をお願い致します。



microSD カードの取出し

microSD カードをもう一度押すと、カードがスロットから取り出せます。

⚠ 注意

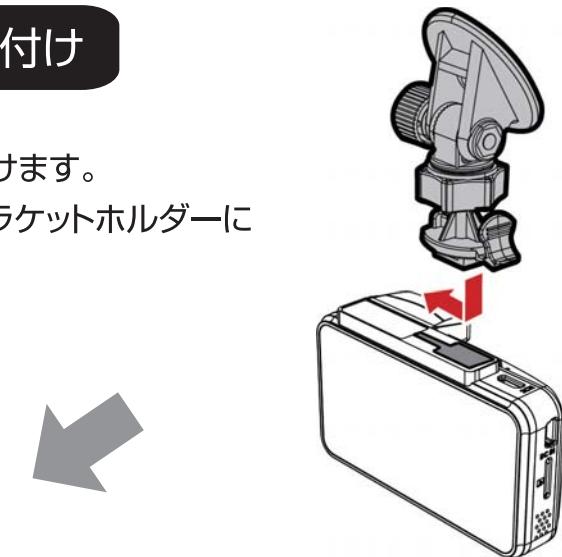
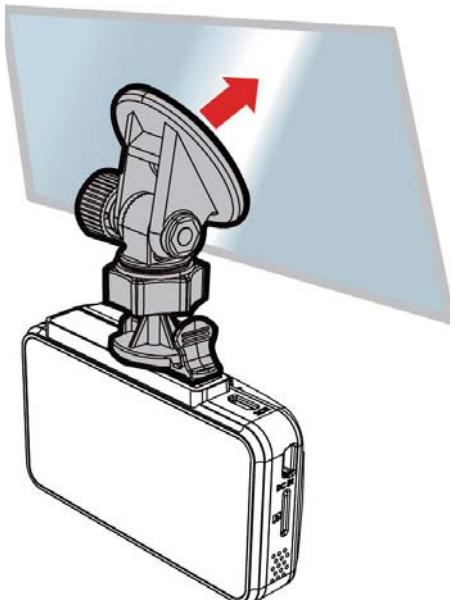
- microSD カードを本機から取り出す時は、microSD カードが素早く排出されますので、なくさないようにご注意ください。
- microSD カード（Class10 以上 16GB ~ 256GB）を使用してください。
- 本製品の電源がオンの時は、microSD カードの取出しまたは挿入をしないでください。故障の原因となります。
- 初めて使用する時、または microSD カードを交換した時は必ず本機でフォーマットしてください。

▶ ドライブレコーダーの取り付け方

3/4

本体(メインユニット)の取り付け

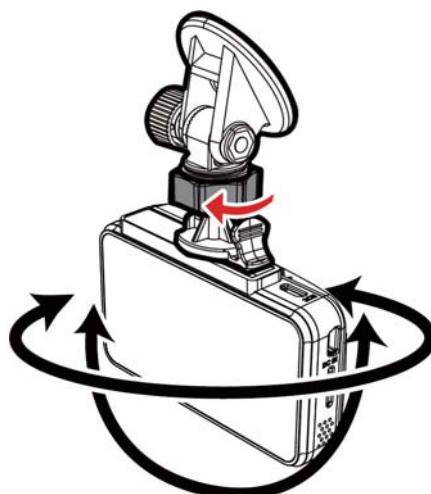
- 付属のブラケットを本機に取り付けます。
カチッという音が聞こえるまでブラケットホルダーに差し込みます。



- ブラケットの接着面を、フロントガラスの取り付ける位置に軽く当てます。
- フロントガラスにブラケットの接着面を押し付けてしっかりと固定します。

本体の位置調整

- ノブを緩め、本機を垂直または水平方向に回転させ撮影範囲を調整します。
- ノブを締め、ドライブレコーダーがしっかりと所定の位置で固定されていることを確認します。



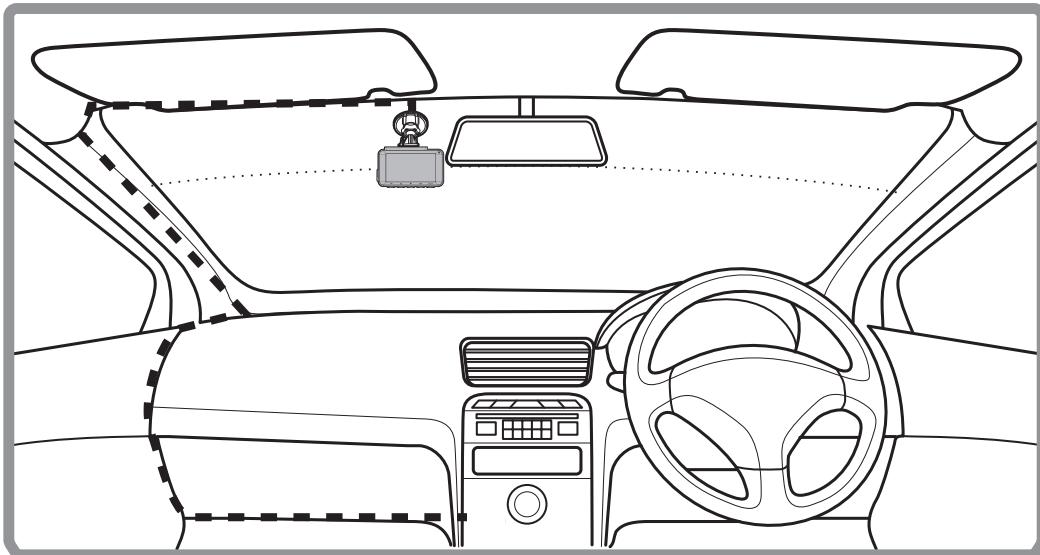
⚠ 注意

本機はルームミラー付近のフロントガラスの中心に取り付けると最適な視界が得られます。車両装備品の動作や運転の妨げにならない位置に取り付けおよび配線を行ってください。

電源への接続

直結用電源コードの場合

付属の電源アダプターの赤色の線は「ACC またはイグニッション ON」で 12V 供給される配線に接続し、黒色の線は GND 線に接続します。



ケーブルは上図を参照して引きまわしてください。

配線の接続には、同梱のエレクトロタップをご使用下さい。

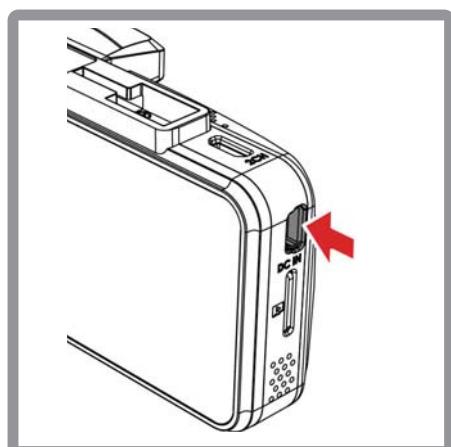
赤線:ACCまたはイグニッション線へ接続
黒線:GND線へ接続

赤線:ACCまたはIG線へ接続



黒線:GND線へ接続

配線取り付け後、電源コードの一方の端を本機の USB/ 電源コネクターポートに接続します。
USB ポート入力: DC 5V / 2.5A



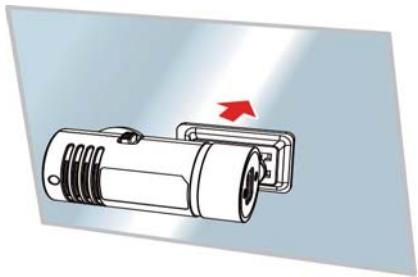
サブカメラの取り付け方

1 / 3

カメラ貼付位置・方向

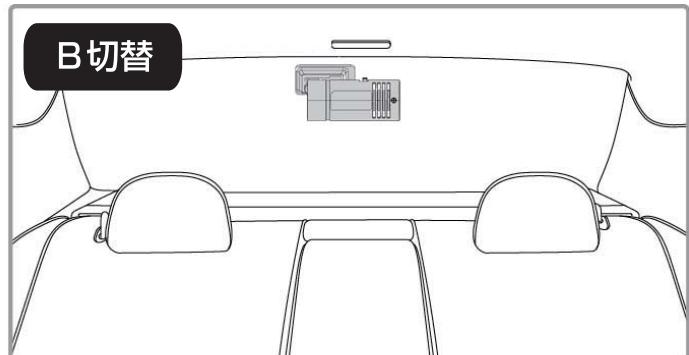
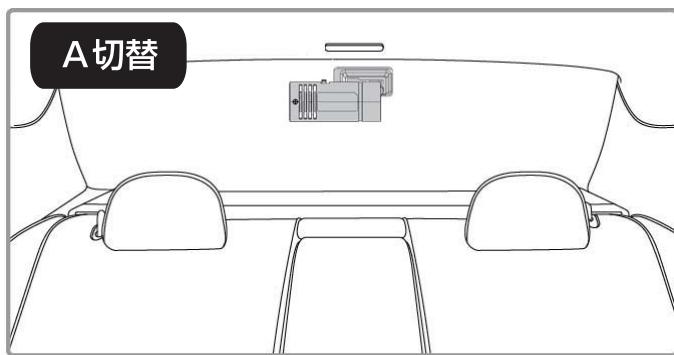
付属の両面テープを使用して右図のようにリヤガラス中央の上部に張付けてください。

カメラの向きに注意してください



下図は車内からリヤガラスを見た図です

カメラの向きにより、「A」/「B」を切替えてください

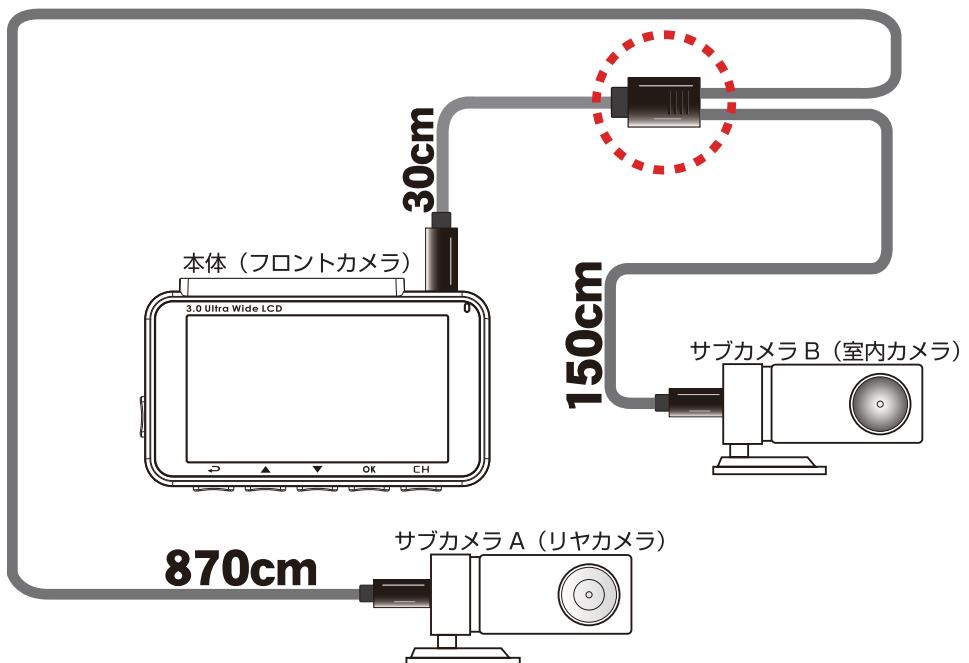


⚠ 注意

●サブカメラをリヤガラス中央上部に取付けると良好な画像を録画する事が出来ますが、次ページの注意を参照して取付てください。

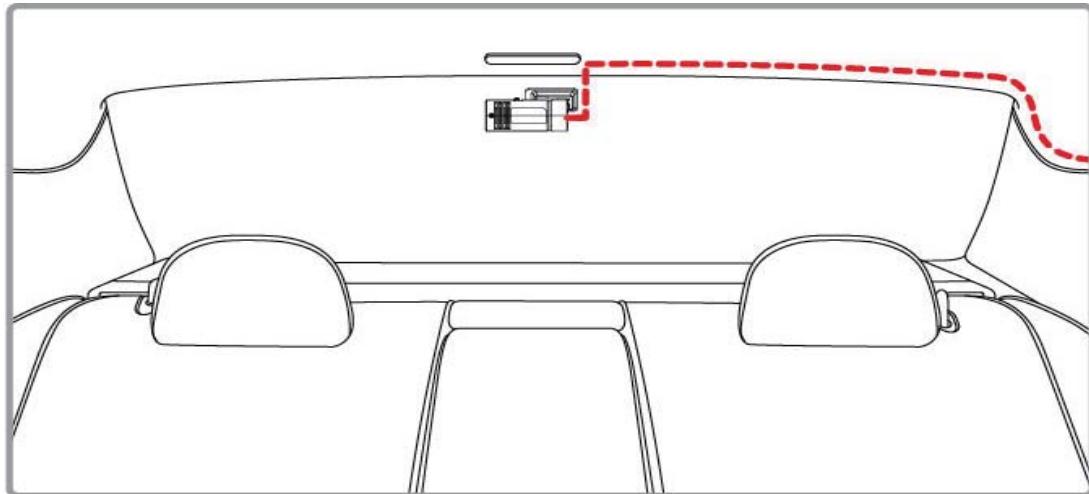
配線の方向

- マルチ接続ケーブルは、必ず分岐していない
端子側に本体を接続してください。
- 間違った配線をした場合、「未接続」もしくは「カメラ接続設定」が表示され、正しく録画できません。

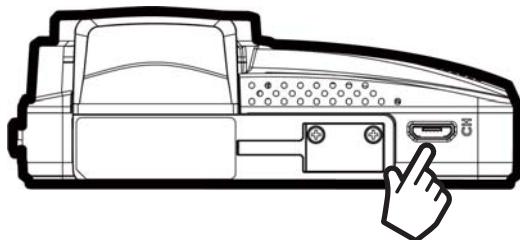


ケーブルの接続

付属のmicroUSBケーブルをサブカメラに接続し、点線のように天井に配線を通して下さい



下図メインユニットの図の位置にサブカメラからのケーブルを接続してください。
※マルチ接続ケーブルの接続は本体の電源がオフの時に行ってください。



⚠ 注意

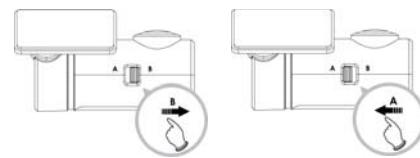
- 両面テープは熱線と重ならない位置に張付けてください。
- リヤワイパーの拭き取り範囲内に取付けてください。（リヤワイパー装着車）
リヤワイパーの拭き取り範囲外、またはリヤワイパー非装着車に取付けた場合は雨等により録画した画像が不鮮明になることがあります。
- リヤガラスのサンシェード等の装備品の動作に干渉しない位置に取付けてください。
- カメラは防水ではありませんので、必ず車内の濡れない位置に取付けてください。
- リヤガラスにラジオ・地デジ等のアンテナがある場合は、アンテナから50cm以上離れた場所にカメラとケーブルを取付けてください。（受信感度が下がる場合があります）
- プライバシーガラスやフィルムを貼ってある車両の場合、夜間等の暗い場所では録画した画像が暗くなり、見づらくなる場合があります。
- ハイマウントストップランプ等の光の影響を受けにくい場所に取付けてください。
- リヤハッチ車に取付ける場合、配線のかみこみや車両の防水等、十分に注意してください。

サブカメラの取り付け方

3/3

カメラの設定

フロントモニターの画像が上下正常に映るように、サブカメラの「A」 / 「B」スイッチで切替えてください。



メインユニットの電源を入れると、フロント映像が映し出されます。

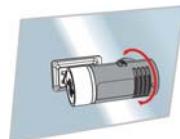
CHボタンを押すと画面を切替えることができます。

フロント ⇒ サブカメラA ⇒ 室内カメラB (OP)

⇒ フロントの順に切り替わります。



モニターの画面を見ながら、サブカメラを矢印の方向に回して、角度の調整を行ってください。



⚠ 注意

● 取付・調整後にカメラのレンズを清掃してください。

● サブカメラの設定変更後は、一度、電源ボタンで電源をオフにしてください。
(設定変更後に接続エラーが出る場合がありますが、故障ではありません。)

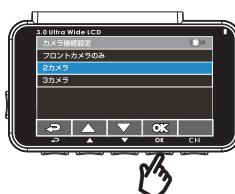
メインユニット側の設定

メインユニットのメニューボタンを押して、メニューから「カメラ接続設定」を選択します。



サブカメラを一つ接続する場合はメニューから「2カメラ」を選択し、設定してください。

電源ボタンで電源を一度オフにし、再起動してください。



フォーマット案内が表示された場合、画面の案内に従って「はい」を選択し、OKボタンを押してフォーマットしてください。
※ フォーマットしないと録画映像が正常に保存されません。



カメラの接続数が設定と異なる場合、右図の画面が表示されます。

カメラ設定を再度設定し、フォーマットしてください。



⚠ 注意

● フォーマットすることで録画したデータが全て削除されます。

残したい映像がある場合、パソコン等に保存してからフォーマットしてください。

削除されたデータは復元できませんのでご注意ください。

▶ 室内カメラの取り付け方

※オプション

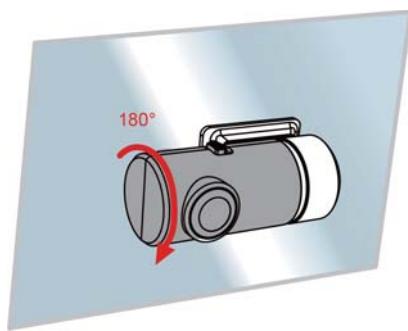
オプションで室内カメラを装着することができます。

詳細についてはオプションに同梱している取扱説明書を参考にしてください。

保安基準第29条第4項第6号「道路等に設置された通信設備との通信のための機器、道路及び交通状況に係る情報の入手のためのカメラ、運行中の運転者の状況に係る情報の入手のためのカメラ」はフロントガラス上部20%以内の取付け範囲に設置することができます。

【オプション】室内カメラは上記内容（道路及び交通状況に係る情報を入手するカメラ、運行中の運転者の状況に係る情報の入手のためのカメラ）を録画する目的の製品です。そのため、設置範囲以内での取付けが可能です。

取り付け方法



両面テープで貼り付けし、角度を調整してください。
角度の調整はフロントカメラの REC ボタンを押すことで映像を表示します。

カメラの向きにより「A」「B」切替えてください。

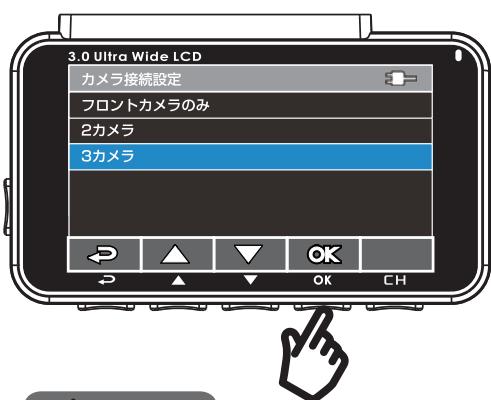
※マルチ接続ケーブルが接続されているか確認してください。

※取付場所によっては障害物により映像を見切ってしまうことがあります。必ず、仮合わせを行ってから取付してください。

⚠ 注意

- 取付・調整後にカメラのレンズを清掃してください。
- サブカメラの設定変更後は、一度、電源ボタンで電源をオフにしてください。
(設定変更後に接続エラーが出る場合がありますが、故障ではありません。)

メインユニット側の設定



1. REC ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. \triangle/∇ ボタンを押して「カメラ接続設定」を選択し、続けて OK ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. \triangle/∇ ボタンを押して「3カメラ」を選択し、 OK ボタンを押してください。
4. \leftarrow ボタンを押してメニューを終了します。

⚠ 注意

- 「3カメラ」に設定後、フォーマット案内(初期化案内)が表示することがあります。
画面の案内に従ってフォーマットしてください。フォーマットしないと録画されません。

▶ 電源のオン/オフ

自動電源オン / オフ

エンジンを始動(ACCがオン)すると、本製品の電源が自動的に入り録画・録音を開始します。またACCがオフになるとデータを保存後に自動的に電源が切れます。

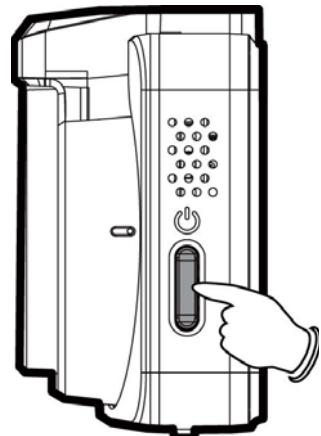
手動電源オン / オフ

電源オン

電源スイッチボタンを押すと電源が入ります。

電源オフ

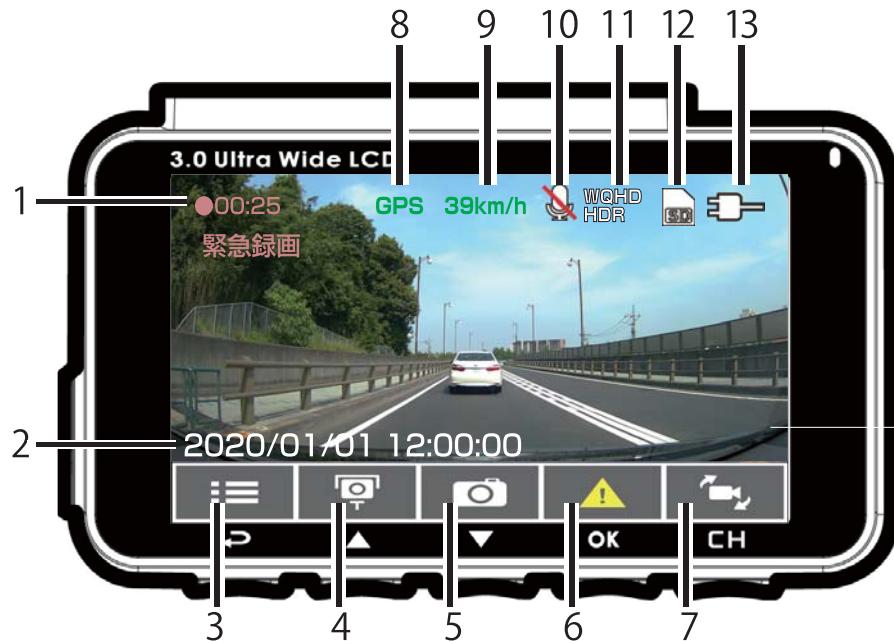
電源スイッチボタンを「長押し」(2秒以上)するとメモリーカードにデータを保存後に自動的に画面が消えて電源オフの状態になります。



⚠ 注意

画面点灯中はメモリーカードの取り出しあは行わないでください。録画ファイルやメモリーカードが壊れことがあります。

▶ アイコン・ボタンの説明



番号	項目	説明
1	録画時間	録画時間を表示します
2	日付と時間	現在の日時を表示します
3	ガイドアイコン (メニュー)	⬅ボタンを押すと、メインメニューに入ります
4	ガイドアイコン (スピードカメラ位置登録)	録画中、GPS衛星信号を受信できていれば △ボタンを押してスピードカメラの位置が登録できます
5	ガイドアイコン (静止画)	▽ボタンを押して、静止画を撮影します
6	ガイドアイコン (緊急録画)	OKボタンを押して手動で緊急録画を開始します
7	ガイドアイコン (カメラ切り替え)	サブカメラ、室内カメラ（オプション）接続時、 ⇄ボタンを押して、映像を切り替えることができます
8	GPSアイコン	GPSの測位中はアイコンが緑色になります（未測位時は赤色）
9	速度	現在の走行速度を表示します（GPS測位中）
10	録音	音声録音の状態を表示します
11	解像度	現在の録画映像の解像度を表示します
12	microSDカード	microSDカード挿入時にアイコンが表示されます
13	電源ステータス	電源コードの状態を表示します

初期設定

本製品を使用する前に正しい日付/時間、各種設定をすることを推奨します。

SD カード初期化

本製品を初めて使用する時やmicroSDカードを入れ替えた時には、最初にmicroSDカードの初期化をする案内が表示されます。
必ず「」ボタンを押して初期化してください。

microSDカードを初期化することで、
microSDカード内に仮想的に容量の割り当てをします。
本製品からmicroSDカード抜き、PCで確認した際には
フルストレージになっておりますが、問題ありません。



- GPSを受信している状態でフォーマットする必要があります。



日付 / 時間の設定

設定は、以下の手順で行います。

1. ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. / ボタンを押して日時を選択し、続いて ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. / ボタンを押して値を調節し、 ボタンを押して次のフィールドを設定します。
4. ステップ3を繰り返して日付と時間の設定を完了します。
5. ボタンを押してメニューを終了します。



※日付/時間はGPSを受信すると自動的に現在時刻を表示します。



日付設定が表示中は録画されません。必ず設定を行うようにしてください。

自動録画

ドライブレコーダーが自動車からの ACC 電源に接続されている場合は、自動車の ACC がオンになると自動的に本体電源がオンになり、録画を開始します。ACC をオフにすると、録画が自動的に停止し電源がオフになります。

⚠ 注意

- 一部の自動車ではエンジンが始動しても（ACC がオンになっても）本体の電源が自動的にオンにならないことがあります。自動車のエンジンとあわせて機器が自動的に電源オン／オフにならない場合、自動車の電源と機器の電源供給を手動で接続するか、機器を手動でオン／オフしてください。
- 全ての録画映像及び画像は microSD カードに保存されます。microSD カードが一杯になると、録画はループされ、通常は最も古いビデオファイルから上書きされます。

※サブカメラが接続・設定されている時も同様に保存や上書きされます。

【録画状態の確認】



録画中の場合、
モニター側の右上 LED が赤色で点滅します。
メニュー画面等の待機状態では、緑色に点灯します。

解像度の設定

解像度の設定を変更するには以下の手順に従ってください。

1. □ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △ / ▽ボタンを押して「解像度+ナイトモード」を選択し、続けて OK ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △ / ▽ボタンを押して解像度を設定し、OK ボタンを押して設定を完了します。
4. ⇠ボタンを押してメニューを終了します。

※工場出荷時：2560×1440P HDRWDR

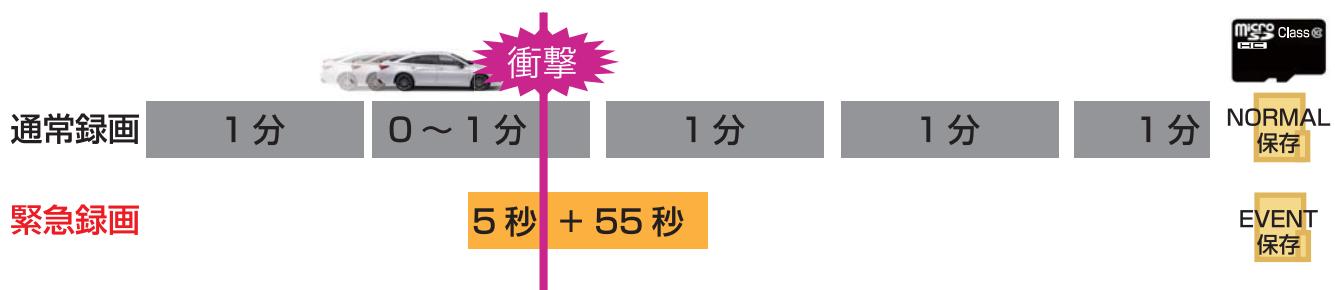
緊急録画

緊急録画を開始するには、以下のように操作します。

- ビデオ録画中、ボタンを押すと緊急録画モードに入り、直後に「緊急録画」メッセージが画面上左隅に表示され、録画ファイルが保護されます。



- 緊急録画の長さは1分です。
緊急録画の録画時間に達すると、通常録画に戻ります。

**⚠ 注意**

緊急録画は専用フォルダ(Event)に保存され、常時録画により上書きされないように保護されます。
緊急録画フォルダ(Event)は使用しているmicroSDカード容量の約20%を使用します。

緊急録画フォルダがいっぱいの時に、新しい緊急録画ファイルが作成された場合、一番古い緊急録画ファイルから削除されます。

※サブカメラが接続・設定されている時は、映像も同様に保存や上書きされます。

静止画の撮影

本機を使用して、静止画を撮影することができます。

1. 録画中に▽ボタンを押して静止画を撮影します。
2. 静止画が撮影されたことを示す のアイコンが画面中央に表示されます。



撮影した静止画はメニュー内のファイル再生、もしくはPCにて確認できます。

⚠ 注意

静止画の解像度は解像度設定により異なります。
サブカメラが接続・設定されている時は、同時に撮影されます。

安全運転支援機能（車線逸脱アラート・追突防止アラート・長時間運転アラート・制限速度アラート・スピードカメラアラート等）はあくまでも簡易的に楽しむための付随的な機能です。

必ず実際の道路状況に基づいて走行してください。

⚠ 注意

- 安全運転機能が一度に発することができる警告は 2 種類までです。音声および警告メッセージが同時に発された場合は、どちらかの警告が対処されるまで他の警告は無視されます。
- スピードカメラアラート、スピードカメラ位置登録、制限速度アラート、車線逸脱アラート、追突防止アラートなどの機能は GPS 信号を受信している必要があります。これらの機能を使用する前に GPS 信号の受信が出来ているか確認してください。確認方法は P18 の「GPS アイコン」の色で確認できます。
- 車線逸脱アラート、追突防止アラートの検知は、雨天や夜間などの暗い環境では不正確になる場合があります。ドライバーが実際の道路状況に基づいて判断するようにしてください。

スピードカメラアラート(オービス警告)

全国のオービスポイント(スピードカメラの位置)が登録されており、車両がオービスポイントに近づくと音声および画面で警告を行います。この時、制限速度を超えて走行している場合はアラームが鳴り、警告画面は赤色に変わり、速度を落とすように警告します。

設定は、以下の手順で行います。

- ボタンを押して、設定メニューに入ります。
- △/▽ボタンを押して **スピードカメラアラート** を選択し、続いてOKボタンを押して機能メニューを開きます。
- △/▽ボタンを押して**オン**を選択し、OKボタンを押して機能を有効にします。
- ◁ボタンを押して録画画面に戻ります。

※工場出荷時：オン



⚠ 注意

- スピードカメラアラート機能(オービス警告)は GPS が測位状態の時のみ動作します(トンネル等で GPS が測位できない場合は作動しません)。
- 本製品のオービス案内はオービスポイントの案内を保証するものではありません。また、取締りの有無を案内するものではありません。オービスポイントを案内したか否かに関わらず、違反等に関して弊社は一切その責任を負いません。
- 本製品のオービス案内時に表示される制限速度は、当社が独自に調べたものであり、その道路の制限速度を保証するものではありません。また気象状況や規制により制限速度は変わりますので、現地の標識や指示にしたがって安全な運転を行ってください。
- オービス警告時に表示される距離は、GPS の誤差や登録ポイントの場所、走行速度によって誤差が生じる事がありますが、異常ではありません。
- スピードカメラアラートは録画中のみ動作します。スタンバイ状態等では機能しません。
- 移動式オービスに対応しておりません。

スピードカメラアラート（追加）

録画中に△ボタンを押すことで任意のポイントにスピードカメラのポイント追加をすることができます。

※警告画面に速度がない表示は追加されたスピードカメラポイントです。

オービス位置を 100 ヶ所まで保存することができます。
これを超過して保存を試みると、「位置登録がいっぱいです」
メッセージが表示され、追加登録はできません。



⚠ 注意

削除する場合、メニュー画面の『追加オービス削除』を選択してください。
削除は、お客様が任意で追加したポイントを全て削除します。削除したポイントは復元できません。
GPS が測位状態でのみ登録ができます。
追加登録したオービス位置を通過時には、制限速度表示はされません。

制限速度アラート

※工場出荷時：オフ

車両が設定した速度を超えて走行すると、ブザー音と警告画面で速度を落とすように警告します。

設定は、以下の手順で行います。

1. □ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して制限速度アラートを選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューを開きます。
3. △/▽ボタンを押して[オフ/50~150 km/h]から警告を開始したい速度を設定し、続けて◎ボタンを押して設定を完了します。
4. ⇠ボタンを押して録画画面に戻ります。



警告画面

⚠ 注意

制限速度アラートは GPS が測位状態の時のみ動作します。
(トンネル等で GPS が測位できない場合は作動しません)

●警告画面は予告なく変更することがあります。

長時間運転アラート

※工場出荷時：オフ

録画開始 1 時間後、その後 30 分毎に警告音と画面表示でお知らせします。

設定は、以下の手順で行います。

1. □ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して長時間運転アラートを選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューを開きます。
3. △/▽ボタンを押してオンを選択し、◎ボタンを押して機能を有効にします。
4. ⇠ボタンを押して録画画面に戻ります。



警告画面

⚠ 注意

●警告画面は予告なく変更することがあります。

追突防止アラート

※工場出荷時：オフ

時速 60 km 以上の速度で走行中に、前方の車両との距離が近づいた時に警告音と画面表示でお知らせします。設定は以下の手順で行います。

設定は、以下の手順で行います。

1. □ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して **追突防止アラート** を選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押してオンを選択し、◎ボタンを押して機能を有効にします。
4. ←ボタンを押して録画画面に戻ります。



警告画面

⚠ 注意

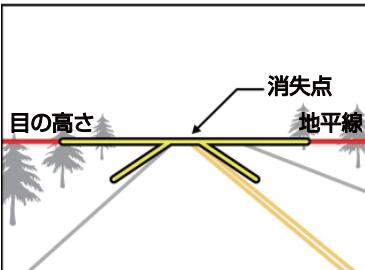
- 追突防止アラートは GPS が測位状態でのみ動作します(トンネル等で GPS が測位できない場合は動作しません)。
- 追突防止アラートは撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません、道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して弊社は一切その責任を負いません。
- 天候や路面状況、走行状態、設置状態等によって、案内をしない場合や意図しない場面で案内をする場合がありますが、故障ではありません。
- 警告画面は予告なく変更することがあります。

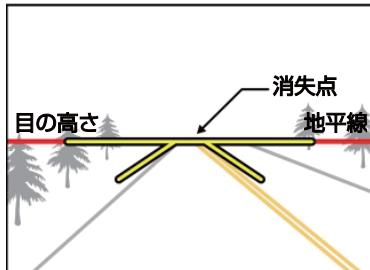
車線逸脱アラート

※工場出荷時：オフ

時速 70km 時以上の速度で走行中に車線を変更する際、警告音と画面表示でお知らせします。

設定は、以下の手順で行います。

1. □ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して**車線逸脱アラート**を選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して**オン**を選択し、◎ボタンを押して機能を有効にします。
4. ◌ボタンを押して録画画面に戻ります。
5. 車線逸脱アラートを有効にすると、通常画面にて、位置あわせのアイコン  が表示されます。位置あわせのアイコンが下図のようになるようにドライブレコーダーの角度を取付け時に調整してください。



警告画面

⚠ 注意

- 車線逸脱アラートは GPS が測位状態でのみ動作します(トンネル等で GPS が測位できない場合は動作しません)。
- 車線逸脱アラートは撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません、道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して弊社は一切その責任を負いません。
- 天候や路面状況、走行状態、設置状態等によって、案内をしない場合や意図しない場面で案内をする場合がありますが、故障ではありません。
- ドライバーの視界を遮らないようにバックミラーの下に設置します（フロントガラスの中央上部）ビデオ画面に空と地面が 50% ずつ映るようドライブレコーダーを調整し、位置合わせアイコンを車線と揃えてください。機器が最大限の効果を発揮し、車線逸脱アラートの正確性を高めるには、正しい設置が不可欠です。
- 位置合わせアイコンが他の物体（ボンネットなど）に遮られないよう注意してください。
- 警告画面は予告なく変更することがあります。

衝撃検出(G センサー)

本体内蔵のGセンサーが衝撃を検出し、録画映像を緊急録画ファイルとして保存する機能です。

感度の設定変更は、以下の手順で行います。

1. □ボタンを押して、設定メニュー入ります。
2. △/▽ボタンを押して**Gセンサー**を選択し、続いてOKボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して、機器の衝突検出感度（高感度/標準感度/低感度/）を変更します。OKボタンを押して設定完了です。
4. ⇠ボタンを押して録画画面に戻ります。

※工場出荷時：標準感度

⚠ 注意

緊急録画は専用フォルダ(Event)に保存され、常時録画により上書きされないように保護されます。
緊急録画フォルダ(Event)は使用しているmicroSDカード容量の約20%を使用します。

緊急録画フォルダがいっぱいの時に、新しい緊急録画ファイルが作成された場合、一番古い緊急録画ファイルから削除されます。

※サブカメラが接続・設定されている時は、映像も同様に保存や上書きされます。

▶駐車モード

※オプション

駐車モード

※駐車モードを使用するためには、別売オプション電源が必要です。

駐車時に車両を監視するには、「パーキング録画」「衝撃検知」「タイムラプス」のいずれかを有効にします。

設定は、以下の手順で行います。

1. □ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して駐車モードを選択し、続いてOKボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して駐車モードを設定し、OKボタンを押して設定を完了します。

※工場出荷時：オフ

パーキング録画

オプション「駐車録画用電源ユニット」付属のスイッチが点灯していることを確認してから車両のACC電源を切ると、画面に「10秒後にパーキング録画モードになります。OKを押すと駐車モードを中止します。」というメッセージが表示され、10秒後にパーキング録画が開始されます。

このモードでは、常時録画と同様の録画を行います。録画ファイルは通常録画のファイルとして保存されます。ファイルが一杯の場合は上書きされます。衝撃を検知した場合は緊急録画のファイルとして保存されます。

※動作時間はオプション電源で設定を行います。

衝撃検知

オプション「駐車録画用電源ユニット」付属のスイッチが点灯していることを確認してから車両のACC電源を切ると、画面に「10秒後に衝撃検知モードになります。OKを押すと駐車モードを中止します。」というメッセージが表示され、10秒後に衝撃検知が開始されます。

このモードでは、衝撃を検知した場合に録画を開始し、緊急録画のファイルとして保存されます。

※動作時間はオプション電源で設定を行います。

タイムラプス

オプション「駐車録画用電源ユニット」付属のスイッチが点灯していることを確認してから車両のACC電源を切ると、画面に「10秒後にタイムラプスマードになります。OKを押すと駐車モードを中止します。」というメッセージが表示され、10秒後にタイムラプスが開始されます。

このモードでは、1秒ごとに1フレームの録画を行います。※約25分間を1分の録画ファイルに記録します。

※動作時間はオプション電源で設定を行います。

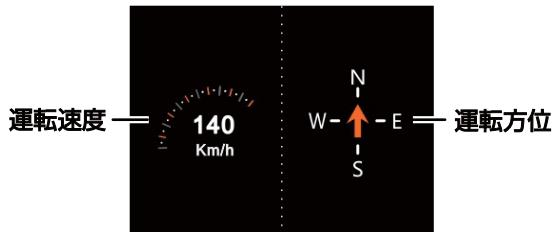
⚠ 注意

- 駐車モードを使用するにはオプション電源が別途必要になります。
- 駐車モードでの録画は、車両へのイタズラや当て逃げ等の録画を保証するものではありません。
- 駐車モードの動作時間の設定は、オプション電源で行います。

▶ その他機能

機能チャート画面

録画中に電源ボタンを押すと、機能チャート表示に切り替えて車両情報を確認することができます。電源ボタンを再度押すと、録画画面に戻ります。



⚠ 注意

GPS衛星信号が受信されていない場合は、正常に動作しません。

SDカードフォーマット案内

※工場出荷時：オン

定期的なフォーマットをお知らせする機能です。

本機で未使用のSDカードや前回のフォーマットから90日以上経過しているSDカードをご使用の場合、電源を入れた時に「SDカードのフォーマットお勧めします」とフォーマットを促す画面が表示され、アラームが鳴ります。

フォーマットを行うと、次回から表示されなくなり、さらに90日後に再度表示します。



⚠ 注意

- 新しいSDカードを使用する場合は、本機でフォーマットしてから使用してください
- フォーマット案内はフォーマットを行うまで毎回表示されます。
- 電源を入れたとき、フォーマット案内が表示された場合、「はい」または「いいえ」を選択し、通常の録画画面に戻ってください。フォーマット案内中は録画されません。
- 必ずGPSが受信した状態で行ってください。

映像再生

録画ファイルは次のように再生します。

- ボタンを押して、設定メニューに入ります。
- △/▽ボタンを押して**ファイル再生**を選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューに入ります。
- △/▽ボタンを押して前方録画/Aカメラ録画/Bカメラ録画/前方緊急録画/Aカメラ緊急録画/Bカメラ緊急録画/前方静止画/Aカメラ静止画/Bカメラ静止画を選択して機能メニューに入ります。
- △/▽ボタンを押して録画ファイルを閲覧し、ファイルを選択し、続けて◎ボタンを押して再生モードに入れます。
- 録画画面に戻るには◁を繰り返し押します。

前方録画	前方カメラの常時録画及び駐車モード時のパーキング録画のファイルが保存されます。
Aカメラ録画 (リヤカメラ)	サブカメラ A の常時録画及び駐車モード時のパーキング録画のファイルが保存されます。
B カメラ録画 (室内カメラ※オプション)	サブカメラ B の常時録画及び駐車モード時のパーキング録画のファイルが保存されます。
前方緊急録画	前方カメラの緊急録画映像及び駐車モード時の衝撃検知のファイルが保存されます。
Aカメラ緊急録画 (リヤカメラ)	サブカメラ A の緊急録画映像及び駐車モード時の衝撃検知のファイルが保存されます。
B カメラ緊急録画 (室内カメラ※オプション)	サブカメラ B の緊急録画映像及び駐車モード時の衝撃検知のファイルが保存されます。
前方静止画	前方カメラの静止画のファイルが保存されます。
Aカメラ静止画 (リヤカメラ)	サブカメラ A の静止画のファイルが保存されます。
B カメラ静止画 (室内カメラ※オプション)	サブカメラ B の静止画のファイルが保存されます。

⚠ 注意

AカメラとBカメラのファイルはサブカメラを取り付・設定した場合のみに録画されます。
サブカメラを接続・設定していない場合でもフォルダーの表示はされます。

ファイルの再生

2 / 3

再生画面



番号	項目	説明
1	ファイル名	ファイル名
2	再生時間	録画ファイルの再生時間
3	ガイドアイコン (戻る)	⬅ボタンを押してファイル選択の表示に戻ります
4	ガイドアイコン(前)	▲ボタンを押して前の録画/静止画を表示します。
5	ガイドアイコン(次)	▼ボタンを押して次の録画/静止画を表示します。
6	ガイドアイコン(再生)	▶▷ボタンを押して録画/静止画を再生します。
7	カメラ切り替え	サブカメラ接続時、色ボタンを押すことで映像を切り替えることができます。
8	ファイル番号	現在再生中のファイルと、ファイルの合計数
9	microSDカード	microSDカード挿入時にアイコンが表示されます
10	電源アイコン	電源の状態を表示します
11	日付	撮影した日付と時間

ファイルの削除

ファイルを削除するには、次の手順に従ってください。

1. □ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して**ファイル削除**を選択し、続いてOKボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して 前方録画/Aカメラ録画/Bカメラ録画/前方緊急録画/Aカメラ緊急録画/Bカメラ緊急録画/前方静止画/Aカメラ静止画 Bカメラ静止画を選択し、OKボタンを押してメニューに入ります。

1ファイル削除

△/▽ボタンを押して**1ファイル削除**を選択し、OKボタンを押してメニューに入ります。

△/▽ボタンを押してファイル一覧より、削除したいファイルを選択し、続けてOKボタンを押してメニューに入ります。

△/▽ボタンを押してはい/いいえを選択し、続いてOK/➡ボタンを押して確定するかあるいは選択をキャンセルします。

すべて削除

△/▽ボタンを押して**すべて削除**を選択し、OKボタンを押してメニューに入ります。

△/▽ボタンを押してはい/いいえを選択し、続いてOK/➡ボタンを押して確定するかあるいは選択をキャンセルします。

4. 録画画面に戻るには➡を繰り返し押します。

⚠ 注意

削除されたファイルは復元できません。削除の前に必要に応じてファイルをバックアップしてください。

▶ 設定メニュー

メニューの使用

設定メニューから、各設定をカスタマイズできます。

- ボタンを押して、設定メニューに入ります。
- △/▽ボタンを押してメニュー項目を選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューに入ります。
- △/▽ボタンを押して、値を選択または調整し、◎ボタンを押して設定を確認します。
- ◀ボタンを押して録画画面に戻ります。

メニュー項目	説明	設定内容	初期設定
カメラ接続設定	サブカメラの設定を選択します。	フロントカメラのみ 2カメラ 3カメラ	2カメラ
ファイル再生	再生するファイルのフォルダーを選択します。	前方録画 Aカメラ録画 Bカメラ録画 前方緊急録画 Aカメラ緊急録画 Bカメラ緊急録画 前方静止画 Aカメラ静止画 Bカメラ静止画	
衛星信号 ステータス	現在の衛星信号受信状態を表示します。		
スピードカメラ アラート	本体に登録されているスピードカメラ(オービス)の位置に近づくとお知らせします。	オン/オフ	オン
追加オービス 削除	手動で登録したスピードカメラの位置を削除します。 (あらかじめ登録されている位置は削除できません)	はい/いいえ	

▶設定メニュー

メニュー項目	説明	設定内容	初期設定
制限速度アラート	設定した速度を超えて走行した場合 警告音とメッセージでお知らせします。	オフ 50～150km/h	オフ
日時	日付と時刻を設定します。		
日時表示	録画映像への日時表示の設定を行います。	オン/オフ	オン
解像度 + ナイトモード	フロントカメラの解像度とモードの設定をします。 ・撮影条件によってフレームレートが変動します。 ・HDR&NIGHT MODEは撮影条件によって自動で切り替えます。 ・ナイトモード時の暗い場所では自動でフレームレート調節して録画します。	2560×1440P 2560×1440P HDRWDR 2560×1440P NIGHT MODE 2560×1440P HDR&NIGHT MODE	2560×1440P HDRWDR
明るさ	露出補正を設定します。	+2.0～-2.0 ※フロントカメラのみ	±0
LCD設定	電源を入れてからLCDモニター表示がオフになるまでの時間を設定します。	オン(常にモニター表示) 7秒後にオフ 1分後にオフ	オン
音声録音	音声録音の設定をします。	オン/オフ	オン
操作音	操作音の設定をします。	オン/オフ	オン
音量	音量の設定をします。	0～10	5
駐車モード	駐車中の録画の設定をします。 『別売電源が必要です』	オフ/パーキング録画/ 衝撃検知/タイムラプス	オフ
Gセンサー (衝突検出)	Gセンサーの設定を行います。	高感度/標準感度/ 低感度	標準感度

設定メニュー

メニュー項目	説明	設定内容	初期設定
長時間運転アラート	録画開始1時間後およびその後30分ごとに警告音と画面表示でお知らせします。	オン/オフ	オフ
車線逸脱アラート	70km/h以上で走行中に車線を変更する際、警告音と画面表示をします。	オン/オフ	オフ
追突防止アラート	60km/h以上で走行中に前方車両との距離が一定以下になると、警告音と画面表示でお知らせします。	オン/オフ	オフ
ファイル削除	記録したファイルを削除します。 (削除したファイルは復元できません。)	前方録画 Aカメラ録画 Bカメラ録画 前方緊急録画 Aカメラ緊急録画 Bカメラ緊急録画 前方静止画 Aカメラ静止画 Bカメラ静止画	
フリッカレス	LED信号機等のちらつきを軽減します。 東日本では50Hz、西日本では60Hzに設定してください。	50Hz/60Hz	50Hz
SDカード初期化	microSDカードのフォーマットをします。 記録した全ての映像/画像を削除します。 (削除したファイルは復元できません。)	はい/いいえ	
SDカード フォーマット案内※	フォーマット案内のメッセージ表示の設定をします。	オン/オフ	オン
設定初期化	本製品の設定を工場出荷の状態に戻します。	はい/いいえ	
ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョンを表示します。		

※設定をオフにした場合、SDカードのフォーマット案内は表示されませんが、SDカードの特性上定期的にSDカードをフォーマットする必要があります。

再生ソフト(SuperCar3)について

専用の再生ソフト（SuperCar3）をパソコンにインストールして使用すると、フロントとサブカメラの再生を同時に確認することができます。GPSの記録から再生している場所を地図上に表示することもできます。

再生ソフトは「www.j-e-s.co.jp」の製品サポートページから
対象の機種、バージョンごとにダウンロードしてください。

⚠ 注意

- ※パソコンによっては microSD カードリーダーが必要です。お客様自身でご用意ください。
- ※インターネットに接続しているパソコンのみ対応しています。
- ※映像はビデオコーデック『H.265』形式です。お客様のパソコン環境によって異なるため、お客様自身でご用意していただきますようお願いします。
- ※お客様のパソコンのスペックによっては動作が遅れることがあります。
下記パソコンスペックを参考にし、SUPERCAR をご利用ください。
- ※SUPER CAR が動作しない等のパソコンによる動作確認の検証は行いません。

パソコンのスペック

CPU	Intel Core i5 2.0GHz 以上
OS	WINDOWS7以降
RAM容量	8GB RAM 以上
HDD	256GB以上 (30GB以上の空き容量が必要)
GPU	GeForce GTX750TI 以上
モニターサイズ	21インチ以上を推奨 ※表示サイズによって文字が小さくなることがあります。

※カードリーダーを使用する場合、USB3.0以上を使用してください。

各部名称と機能



番号	項目
1	前方映像
2	再生時間表示バー
3	Gセンサー値
4	Gセンサーグラフ
5	ファイル・フォルダを開く
6	スナップショット
7	写真撮影
8	再生 / 停止
9	早送り
10	音量

番号	項目
11	速度
12	バージョン情報
13	最小化
14	最大化
15	閉じる
16	Google マップ
17	サブカメラ映像
18	室内カメラ映像
19	再生ファイル情報
20	再生ソフトの拡大縮小

再生ソフト(SuperCar3)について

操作方法

【例】Normal フォルダ再生

「SUPER CAR3」のアイコン  を選択してください。

起動後、「5. ファイル・フォルダを開く」  を選択してください。

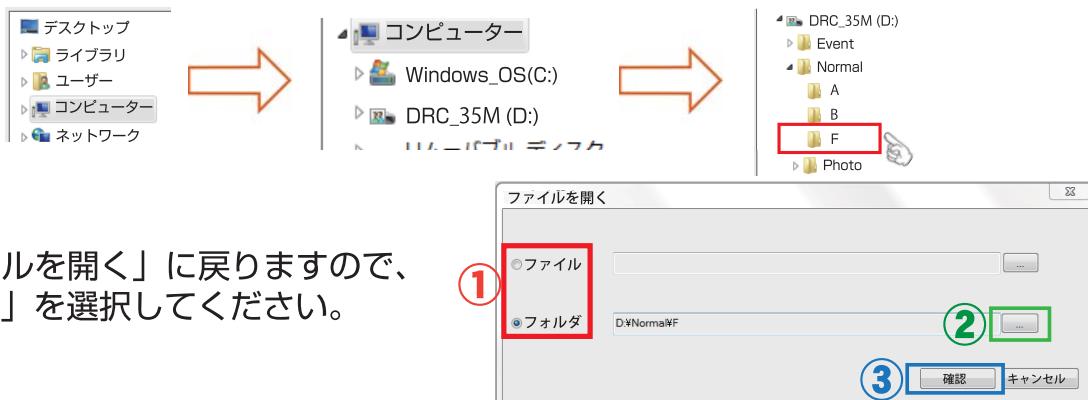
「ファイルを開く」ウインドウが立ち上がります。「①フォルダ」を選択してください。

①ファイルだけを再生したいときは「ファイル」を選択、
複数ファイルを再生したいときは「フォルダ」を選択します。

選択したら、②右の  を選択してください。

「フォルダの参照」ウインドウが立ち上がりますので

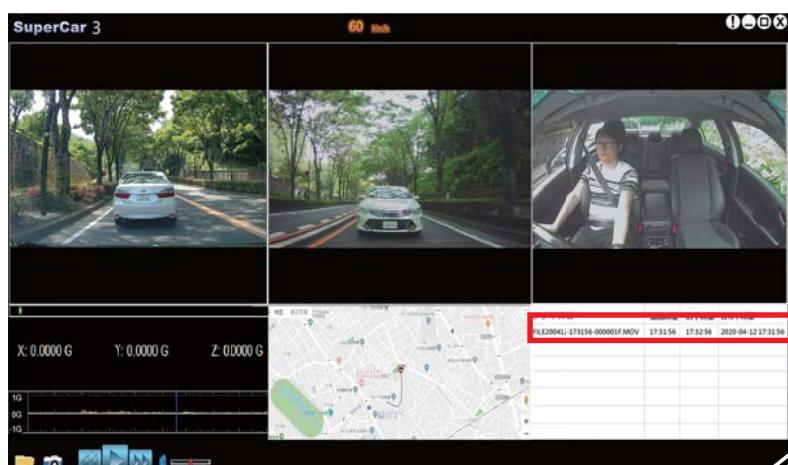
「コンピューター」→「DRC_35M」→「Normal」→「F」を選択してください。



「ファイルを開く」に戻りますので、
「③確認」を選択してください。

「再生ファイル情報」から再生
したい映像を選択してください。

映像が再生されます。



⚠ 注意

- Google マップ上に走行軌跡を表示するには、動画の再生を始める前にインターネットに接続する必要があります。
- ファイル名やフォルダ名を変更すると正常に再生できなくなりますので、ご注意ください。
- SuperCar3 ソフトウェアは Windows7 以降のパソコンのみに対応です。
- フロントとサブカメラの再生動画に多少のズレが生じることがあります。故障ではありません。
- 動画を PC に保存しておきたい場合は、コピーをしてください。切り取りをすると microSD カードエラーが発生します。
- 音声や映像が表示しない場合はホームページに掲載しております「LAVFilters-0.70.2-Installer.exe」をダウンロードしてください。
- 動画再生中に microSD カードを抜かないでください。
- GPS を受信していない映像の場合、走行軌跡は表示されません。
- G センサーの X、Y、Z のグラフは数値を選択すると表示が消えます。再度選択すると表示されます。

▶ ファームウェアの更新について

更新データダウンロード方法

1. <http://www.j-e-s.co.jp/> にアクセスします。
2. 「ドライブレコーダー」を選んでいただき、
「製品サポート」から「DRC-35ST」を選んでください。
「ファームウェア」から対象のバージョンを確認し、ダウンロードしてください。
※対応環境についてはサイトの「対応パソコン」の記載をご確認ください。

データ更新方法

1. 上記 2 でダウンロードした「ファームウェア」を解凍し、
解凍したデータ (DRC-35M.bin) をドライブレコーダーに挿入していた
microSD カードに保存してください。
2. microSD カードをドライブレコーダーに戻します。
※電源がオフの状態で microSD カードを挿入してください。
3. 本体の電源をオンにしてください。自動的にデータの更新を始めます。
更新には 3 ~ 4 分かかります。
4. 更新が終了すると自動的に電源が切れます。
※更新が終了するまで電源を切らないでください。

⚠ 注意

- ①必ず電源アダプターから電源が供給されている状態で行ってください。
また、データ更新中は絶対にエンジンを切ったり、電源を切らないでください。
ドライブレコーダーの故障の原因になります。
- ②microSD カードを本機から取り出すときは、microSD カードが素早く排出
されますので、なくさないようにご注意ください。
- ③データ更新を行うと、各設定は初期設定に戻ります。
また、ご自身で登録したスピードカメラのポイントも消えます。
- ④データ更新中にボタン操作をしないでください。
ドライブレコーダーの故障の原因になります。

仕様 (フロントカメラ)

項目	説明
映像素子	400万画素カラーCMOS
LCD ディスプレイ	3.0インチ IPSモニター
レンズ	広角固定フォーカスレンズ F値1.9
レンズ画角	水平103° 垂直74° (対角143°)
最大記録画角	水平102° 垂直53.4° (対角122°)
録画解像度	2560×1440P
フレームレート	27.5コマ/秒
フォーカス範囲	1.5m～無限
録画ファイル構成	1分単位
HDR + WDR	あり
ファイル形式	MOV(動画) / JPEG(静止画) / ADPCM(音声)
記録映像再生方法	本体LCD / 専用ビューアーソフト
記録方式	常時録画 / 緊急録画 / 手動録画
音声録音	ON / OFF 可能
保存用電源	スーパーキャパシタ内蔵
Gセンサー	有り(高感度 / 標準感度 / 低感度)
GPS	有り
スピーカー	有り
記録媒体	microSD(32GB付属) 16GB～256GB対応(Class10以上)
動作温度範囲	0°C～+60°C
消費電力	約10W
電源電圧	DC12V/24V
外形寸法	86.5(幅) x 52(高さ)x 30(奥行) mm
本体重量	約 92g(付属品含まず)
製品保証	3年(消耗品は除く)

▶ 仕様 (サブカメラ)

項目	説明
映像素子	200万画素カラーCMOS
レンズ	広角固定フォーカスレンズ F値2.2
レンズ画角	水平100° 垂直52° (対角122°)
最大記録画角	水平98° 垂直51° (対角114°)
録画解像度	1920×1080P
フレームレート	25コマ/秒
WDR	あり
外形寸法	58(幅) x 36(高さ)x 32(奥行) mm
本体重量	約 22g (付属品含まず)

▶ 仕様 (室内カメラ)

※オプション

項目	説明
映像素子	200万画素カラーCMOS
レンズ	広角固定フォーカスレンズ F値2.2
レンズ画角	水平150° 垂直105° (対角188°)
最大記録画角	水平150° 垂直86° (対角166°)
録画解像度	1920×1080P
フレームレート	25コマ/秒
WDR	あり
外形寸法	58(幅) x 36(高さ)x 32(奥行) mm
本体重量	約 22g (付属品含まず)

► microSD カード

microSDカードの使用可能スペック

microSDカードを交換される場合は、以下のスペックを参考にしてください。

全てのmicroSDカードが使用できるわけではありません。
microSDカードによっては使用できない場合があります。

項目	説明
容量	16GB～256GB
スピードクラス	CLASS10以上
UHSスピードクラス	U1 または U3
ビデオ速度クラス	V10以上
ファイル形式	FAT32
アプリケーション パフォーマンスクラス	A1またはA2
最低転送速度	10MB/秒

※動作保証するものではありません。また、弊社では動作確認による検証を行いません。

※microSD カードは消耗品です。定期的なご交換をお願い致します。

※microSD カードを購入する場合、ドライブレコーダー用高耐久モデルをご使用ください。

撮影可能時間の目安

※microSD カードにより撮影可能時間は異なるため、下記表はあくまでも目安です。

駐車モードの録画は通常録画に保存されます。衝撃検知は緊急録画に保存されます。

1 ファイル 1 分で構成されています。

ギガ数	2 カメラ録画			3 カメラ録画		
	通常録画 (NORMAL)	緊急録画 (EVENT)	写真 (PHOTO)	通常録画 (NORMAL)	緊急録画 (EVENT)	写真 (PHOTO)
16GB	45 分	10 分	72 枚	32 分	8 分	49 枚
32GB	90 分	20 分	145 枚	65 分	15 分	98 枚
64GB	180 分	40 分	290 枚	130 分	30 分	196 枚
128GB	360 分	80 分	580 枚	260 分	60 分	384 枚
256GB	720 分	160 分	1160 枚	520 分	120 分	768 枚

よくある質問

よくお問い合わせいただく内容を記載しております。下記の内容をご確認ください。

質問	答え
1 『SD カードエラー』が表示された	micro SD カードが本体に正しく差し込まれていることをご確認ください。差し込みに問題がない場合、「メニュー」からフォーマットしてください。フォーマットしても改善されない場合は、micro SD カードを交換してください。 ※micro SD カードは消耗品の為、寿命がございます。
2 『カメラ接続設定』が表示された	マルチ接続ケーブルに接続方向があります。(P13 参照) 接続方向に問題ない場合、本体のカメラ設定と接続カメラ数が異なっている可能性があります。カメラ接続設定を行ってください。 
3 『フォーマット案内』が表示された	新しい microSD カードを差し込んだ際、フォーマット案内が表示します。 また、ご使用いただいている microSD カードで前回のフォーマットから 90 日後にフォーマットの案内を表示します。『はい』 or 『いいえ』を選択し必ず、表示画面から移行してください。 
4 『日付設定』が表示された	長時間使用していない場合や日付を保持する内蔵バッテリーの寿命など、内蔵バッテリー充電不足により、日付情報がリセットした時に表示します。表示した場合、必ず日付の設定をし、1 時間程度走行して内蔵バッテリーを充電してください。(P19 参照)
5 SD カードは何分保存できるの？	接続しているカメラ数によって異なります。 詳細については P42 をご確認ください。
6 最近、スピードカメラアラートが鳴る(表示される)ようになった	お客様がスピードカメラ設定をされた可能性があります。(P24 参照) メニュー画面より『追加オービス削除』を行ってください。 
7 パソコンで再生したい	P37 ~ P38 (再生ソフト『SUPER CAR3』) を参考してください。 ※映像はビデオコーデック『H.265』形式です。お客様のパソコン環境によって異なるため、お客様自身でご用意していただきますようお願いします。 ※お客様のパソコンのスペックによっては動作が遅れることがあります。 [OS] Windows7 以降 [プロセッサー] Intel Core i5 CPU 以降 [RAM] 8GB 以上 ※音声や映像が表示しない場合はホームページに掲載しております「LAVFilters-0.70.2-Installer.exe」をダウンロードしてください。
8 走行中、液晶画面を消したい。	本体のメニューより、『LCD 設定』を変更してください。 常時点灯(初期設定)、7 秒後に消灯、1 分後に消灯の 3 パターンから選ぶことができます。
9 パーキング録画が使用できない	○オプション『パーキング録画用電源』の購入が必要です。 販売店様へご確認ください。 ○本体の設定を行ってください。設定方法は P29 を参照してください。 ○使用する場合、後付けのスイッチを押す必要があります。 必ず、エンジンを切る前にスイッチを押し、スイッチのランプが点灯していることを確認してください。 ○録画しているかは本体の LED をご確認ください。 赤点滅：録画中 緑点灯：衝撃検知モードの場合は待機中 赤点灯や不点の場合は販売店様へご連絡ください。 ○車の電圧を確認し、設定値を下回った場合、自動で電源が切れる制御をしております。お車の電圧を確認してください。

保証規定

1. 保証期間内に、製造上の理由により不具合が生じた場合は、修理もしくは、代替の製品を用意させていただきます。 ※作業費用等は、お客様の負担となります。
2. 本製品は持込修理となっております、修理や点検にともなう脱着等の費用・レンタカーレンタル料金・輸送費等はお客様の負担となります。
3. 保証書のないもの、各記入事項欄に欠落、または無記入欄のある保証書は無効となりますので、保証対象外とさせていただきます。
4. 保証期間内であっても次に当てはまる場合は保証対象外（有償修理）になります。
 - 取り付けの不備による故障、損傷等
 - 本製品の不適合車種へ取付けされた場合
 - 不正改造等による故障、損傷等
 - 天災（地震・落雷・火災・水害）等による故障、損傷
 - 交通事故による故障、損傷
 - 消耗品等の損傷、またはそれによる故障
 - 製品・部品・付属品を紛失された場合
 - 各説明書の注意点に従って使用しなかった場合
 - 保証書の無提示
 - 他社製品等の取り付けによる故障、損傷
 - お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障、損傷
 - 盗難による破損、または故障
 - 外的要因による破損や変形がある場合
 - 購入日の確認の取れる書類（レシート又は領収書）の提示がない場合
 - バス・トラック・タクシーなどの商用車両及び商用目的の車両に取り付した場合
及びサーキット走行等
5. 保証対象は消耗品を除く本体のみになります。
(メモリーカード・プラケット等の付属品は消耗品となりますので、保証対象外となります。)
6. この保証規定は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)



ドライブレコーダー保証書

この保証書は裏面の「保証期間」に亘り、無償修理を行うことをお約束するものです。

品名	m	保証期間	C-35ST
ご購入日	■■■■■	購入日より	3年間
お名前	■■■■■	(※記入欄)	
ご住所	■■■■■		
電話番号	■■■■■		
販売店(店名・住所)	■■■■■		

保証期間	3年間
修理料金	0.